

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 23	小学校	音楽	音楽	第 6 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 602	小学生の音楽 6		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

私たちは音楽科の学習を通して子どもたちに「このような資質・能力を育みたい」と願いました。

- 音楽によって豊かな人生を切り拓く力。
- 音楽の幅広い知識や技能。
- 主体的・対話的な学びによって得られる、汎用性高い学力。

こうした課題に取り組むために、次のようなことに留意して編修いたしました。

基本方針

1

音楽で生活を豊かにする心を育みます。

音楽で社会や身の周りの人々とつながる学びを促します。



基本方針

2

音楽科の確かな学力を育みます。

系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。



基本方針

3

主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。

課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。

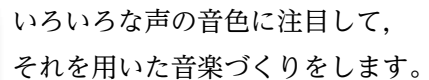


1「ふるさと」を通して身の回りの人とつながったり、

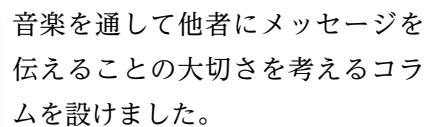
「復興と希望の歌」が人と人をつなぐ役割を果たす場面に注目したりします。



2 様々な音に対する意識を高め、音を通したコミュニケーションを促します。



3 音楽を通じてよりよい人間関係をつくる心を育てます。



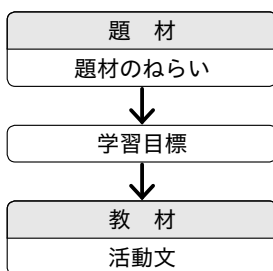
音楽科の確かな学力を育みます。

系統的な題材構成と質の高い教材で確かな学びを支えます。

1 題材と教材の緊密な関係が、 焦点化した学習を実現します。

年間で8題材を設定し、それらに密着した教材が、
ねらいの明確な学習を実現します。

●題材と教材の関連イメージ



題材

題材のねらい



学習目標

活動文

教材

(p.28)

2 見やすく、スッキリとした紙面がスムーズな学習を実現します。

インクルーシブ教育の実現
を目指し、特別支援教育や
色覚特性の多様性などの観
点から、白を基調とした紙
面とし、情報の配置にも配
慮しました。



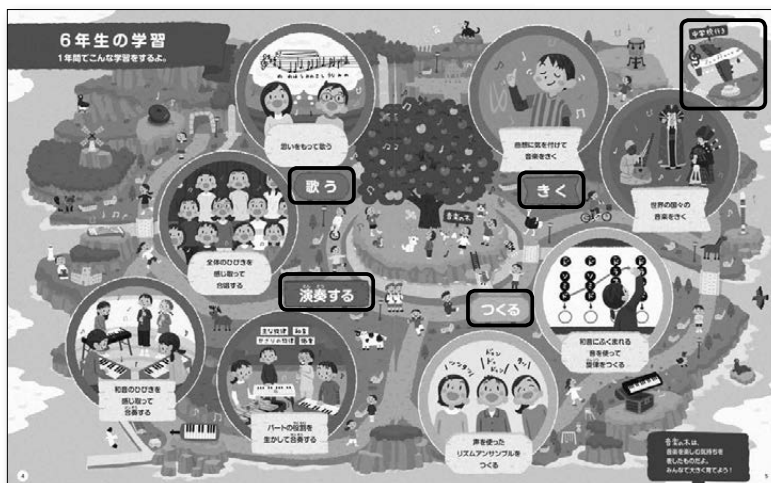
(p.36・37)

3 見通しをもった学びを実現します。

目次の前に、1年間で学ぶ内容を視覚
的に捉えることができるページを設け
ました。

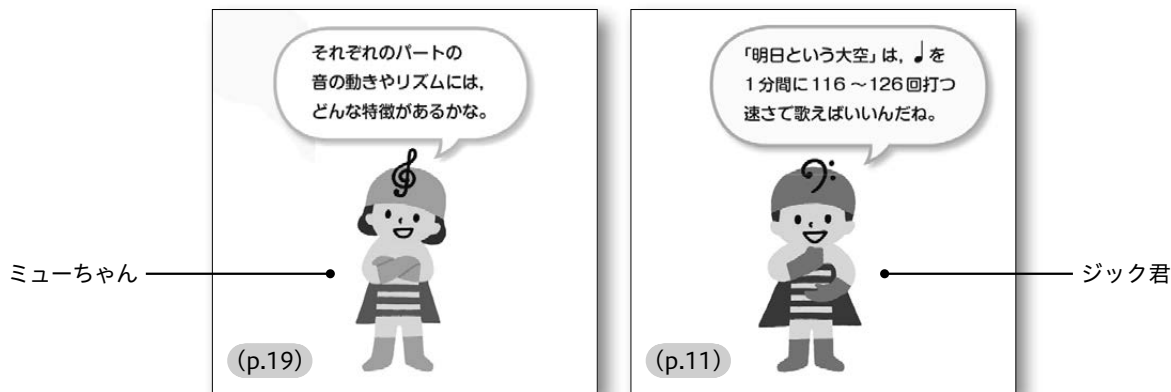
「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」
に分けて示しています。

(p.4・5)



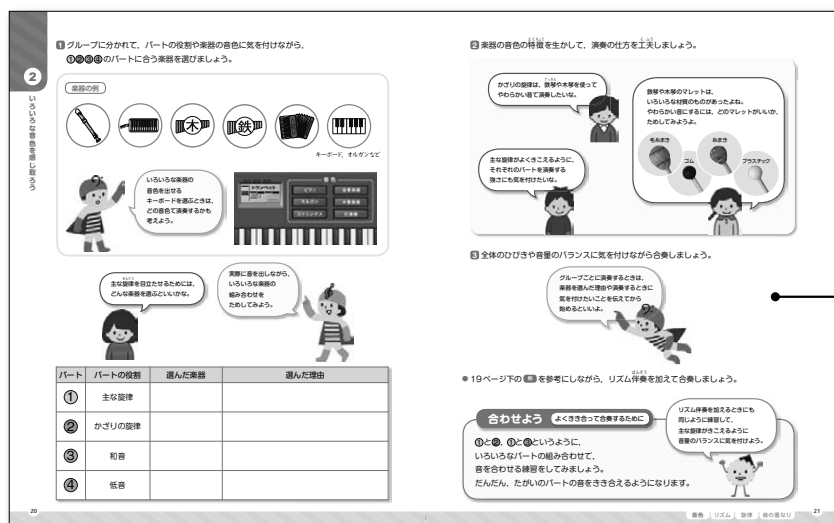
主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促します。
課題意識をもって、友達と対話、協働しながら学習することで、学びの質を深めます。

1 知識の習得や理解の深まり、学びの広がりをキャラクターがサポートします。



2 主体的で対話的な学びを軸に学習を進めます。

音楽科の学習は従来から「主体的・対話的」な要素を多く含んでいます。この特性を生かし、「主体的・対話的で深い学び」により迫ることができるよう工夫しました。



考える観点を
例示しながら、
主体的で対話
的な学びを引
き出します。

(p.20 · 21)

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるページを、すぐに開くことができる最終ページに設けました。

国際理解教育の観点から、自国のみならず、他国の国歌も尊重する態度を養えるように、国歌を歌ったり聴いたりするときの一般的なマナーについても触れています。



(p.86 · 87)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	歌舞伎における音楽の役割や、漫画「ONE PIECE」を題材とした歌舞伎の制作について知ることを通して、我が国の伝統文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.2・3
心をつなぐ歌声	未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばそうとする態度を養えるようにしました。(第二号)	p.8・9
①歌声をひびかせて心をつなげよう	歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる写真やコラムを掲載しました。(第四号)	p.12・13
②いろいろな音色を感じ取ろう	パートの役割を知り、それぞれの役割を担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第三号)	p.18～21
	声の音色を工夫しながらリズムアンサンブルをつくる学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	p.22・23
③旋律の特徴を生かして表現しよう	旋律の音の上がり下がりやリズムの特徴、強弱の変化に着目して、旋律の特徴を生かした表現を工夫できるようにしました。(第一号)	p.24・25
	互いのパートを聴き合いながらアンサンブルをする学習活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	p.26・27
④いろいろな和音のひびきを感じ取ろう	短調の和音について理解し、その移り変わりを感じ取りながら演奏する学習活動を設定しました。(第一号)	p.30・31
	和音の音を使って旋律をつくる音楽づくりの学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	p.32・33
⑤曲想の変化を感じ取ろう	曲想の変化をもたらす要素の働きに気付き、気付いたことを生かしたり深めたりする学習活動を設定しました。(第一号)	p.34～37
⑥詩と音楽の関わりを味わおう	日本の自然の美しさを表現した曲を鑑賞することを通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第四号)	p.40～43
	音楽が社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第三号)	p.47
⑦日本や世界の音楽に親しもう	「越天楽今様」に関連して、雅楽「越天楽」を取り上げ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.49
	世界のいろいろな国の音楽に触れ、そのよさを感じ取る学習活動を通して、各国の文化に親しみをもち、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.50・51
⑧音楽で思いを伝えよう	卒業に当たって、感謝の気持ちを込めて歌う学習活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	p.52～55
歌いつごう 日本の歌	季節や自然にまつわる歌を歌うことを通して、我が国の伝統と文化を尊重し、自然を大切にする態度を養えるようにしました。(第四号, 第五号)	p.56・57
みんなで楽しく	未来に向かって力強く生きるエネルギーを感じ取りながら歌える教材を掲載しました。(第二号)	p.58～65
	生命の大切さを歌う曲「いのちの歌」で、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第四号)	p.66・67
特集 音の働きや役割について考えよう	音の働きや役割について考えを深める学習を通して、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす態度を養えるようにしました。(第二号)	p.74・75
鑑賞資料 日本の古典芸能	我が国の古典芸能の歴史的な流れを俯瞰するページを設定し、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.78・79
国歌「君が代」	国歌「君が代」と同じく、他国の国歌をも尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	p.86・87

編修趣意書

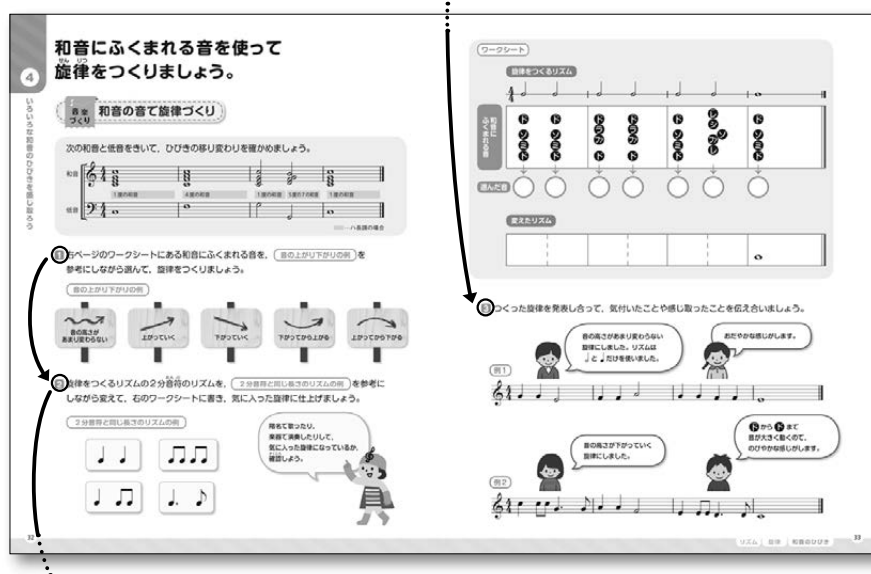
(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 23	小学校	音楽	音楽	第 6 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 602	小学生の音楽 6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の流れを見通しながら、スムーズな学習ができる

学習手順を番号で示して、流れを分かりやすくしています。



(p.32・33)

2 系統的な題材構成・題材のねらいに即した教材

学年間のつながりを見通した題材のもとに、題材のねらいに即した教材を配しています。



(p.28, 30, 32)

SAMPLE…著作権の関係で楽譜の一部を見えないようにしています。

3 主体的・対話的で深い学びを引き出す紙面

グループで声によるリズムアンサンブルをつくる学習を通して、主体的・対話的で深い学びを引き出す活動を設定しました。

いろいろな楽器や音でリズムをつくりましょう

22

声のひびきが重なるおもしろさを生かして 音楽をつくりましょう。

音楽づくり ボイスアンサンブル

- 3人の組になって、19ページにある「ラバース コンチェルト」のリズム伴奏を、楽器の代わりに声で演奏しましょう。

自由な速さで

①	4/4	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ	タ	ツ
②	4/4	タン		タン		タン		タン		タン		タン		タン		タン		タン	
③	4/4	ドン		ドン		ドン		ドン		ドン		ドン		ドン		ドン		ドン	

拍 0

「タツタツ」の「タ」だけ、声の高さを変えようかな。

「タン」は、なるべく低い方がいいな。

「ドン」は、どんな声の高さにしてもいいかな。

他の言葉でもためしてみよう。

言葉の例

- チ
- カン
- シュ
- パン
- ボン
- ルン

- 左ページを参考にしながら、声によるリズムアンサンブルをつくりましょう。

- ① 下のワークシートの①と②のパートに ♩ ♪ ♫ ♬ のリズムを使って、8拍のリズムをつくりましょう。

ワークシート

4 拍くり返す

①	4/4																		
②	4/4																		
③	4/4	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪

拍 0

終わりの部分

- ② ①②③のパートの 言葉 を考えて、ワークシートに書きましょう。

「♪♪♪」を「テクテク」という言葉にしてみようかな。

声の高さや発音の仕方を変えながら、どの言葉が合うかためてみよう。

- ③ 全体のまとまりを考えて、パートの重ね方や 終わりの部分 を工夫し、リズムアンサンブルをつくりましょう。

終わりの部分 は、全員で③のリズムを 絶えず鳴らすようにして終わろうかな。

③のパートのリズムを 自由につくり進めてもいいね。

音楽 リズム 声の重なり 絵と音との関係

23

これらの音楽づくりの学習は、
プログラミング教育の視点でも活用できます。

4 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。

背景と文字の色にコントラストを付けて、歌詞の視認性を高めています。

3 旋律の特徴を生かして表現しよう

歌詞と曲想との関わりを気付けて歌いましょう。

旋律の音の上がり下がりやリズムの特徴、強さの変化を感じ取りながら歌いましょう。

リズムの特徴について
「おぼろ月夜」と比べて
みるのもいいね。

このうた われは海の子

文部省唱歌

♩ = 120 ~ 132

mf

1 われは海の子
2 まれはてうし
3 たれはてうし

こにうなみ
ゆいそな
いそな

のてに
きり
あり

mp

けせな
むんざ
りり

たよま
なせく
くる

どうふ
まみく
や

そをを
こきぜ
か

mf

わす
ない
い

つて
き
わ

か
ら
べ
く

きと
す
な
れ

かに
は
な
け
り
く

旋律の音の上がり下がりやリズムを生かして表現しよう

一、われは海の子
さわぐいその松原に
けむりたなびくどまやこそ
わがなつかしき住みかなれ

二、生まれてしおに 湯あみして
波を 子母の歌と聞き
千里寄せる 海の気を
吸いて わらべとなりけり

三、高く鼻つく、いその香に
不断の花の かおりあり
なぎさの松に 吹く風を
いみじき葉と われは聞く

「こころのうた」は、すまじの歌を編みこんで作られた歌。
「おぼろ月夜」とは、同じくすまじの歌。
「おぼろ月夜」は、すまじの歌を編みこんで作られた歌。
「おぼろ月夜」とは、同じくすまじの歌。

今から100年以上前につくられたこの歌は、海辺で育った人々の海への思いを力強くうたい上げています。広々とした海へのあこがれや、きびしい自然の海とともに生きていることのほこりなど、その思いは、昔も今も変わることなく受けつがれています。

岩手県大船渡市

24

リズム 旋律 強弱

25

楽譜の読みやすさを重視し、背景を白地にしています。

5 社会と音楽の関わりへの意識を促す教材

世界のいろいろな国の音楽を鑑賞する学習活動を通して、それぞれの文化とのつながりに気付きます。



(p.50・51)

6 我が国の文化を大切にする心情を育てる教材

漫画やアニメで人気を博している「ONE PIECE」の世界と歌舞伎との融合を実現した、市川猿之助さんのお話によって児童の興味・関心を引き出します。



(p.2・3)

7 ICT 機器の活用への対応

学習をサポートするコンテンツを、紙面上の二次元コードを読み取ることによって ICT 機器で閲覧することができるようにしました。



(p.31)

8 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①音楽で生活を豊かにする心を育む。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③主体的・対話的な学習を引き出し、深い学びを促す。
	学習指導要領の遵守	●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(p.4・5)
	歌唱教材	●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。(p.18～21, 22・23, 27, 32・33, 35, 41, 46・47)
	伝統と文化の尊重	●我が国の伝統的な音楽に関わる題材を配置し、それらに親しみながら、表現したり鑑賞したりする学習を進められるようにしました。(p.48・49)
	国際理解	●国際理解教育や外国語の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(p.68・69)
	〔共通事項〕	●教材を指導する際の目安となる、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素をページ下に表示し、「ふり返りのページ」でも一覧できるようにしました。
その他	ICT 機器の活用	●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって、指導に役立つ画像などのコンテンツを閲覧できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けが付きにくい児童の色覚特性にも配慮した配色にしました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本	●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●印刷は鮮明で、製本は開きがよく安全で堅牢な「糸中綴じ方式」を採用しました。6本の糸はそれぞれ独立しており、うち1本が損傷しても影響はごく軽微です。

2. 対照表

図書の構成						学習指導要領の内容															
ページ	教材名	歌唱					器楽					音楽づくり					鑑賞		〔共通事項〕		
		ア	イ	ウ			ア	イ		ウ			ア	イ		ウ	ア	イ	ア (要素)	イ (仕組み)	
				(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)						(ア)
8	つばさをください	○	○	○	○	○														○	
10	明日という大空	○	○	○	○	○														○	
12	おぼろ月夜	○	○	○	○	○														○	
14	星空はいつも	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○								○	○
16	◎木星																	○	○	○	○
18	ラバーズ コンチェルト						○	○	○	○	○	○								○	
22	ボイスアンサンブル												○	○	○	○	○	○		○	○
24	われは海の子	○	○	○	○	○														○	
26	メヌエット						○	○	○	○	○	○								○	
28	星の世界	○	○	○	○	○														○	
30	雨のうた						○	○	○	○	○	○								○	○
32	和音の音で旋律づくり												○	○		○	○			○	
34	思い出のメロディー	○	○	○	○	○														○	
36	◎ハンガリー舞曲 第5番																	○	○	○	○
38	風を切って	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	
40	◎花																		○	○	○
42	◎箱根八里／◎荒城の月																		○	○	○
44	ふるさと	○	○	○	○	○														○	○
48	越天楽今様	○	○	○	○	○														○	
49	◎雅楽「越天楽」																		○	○	○
50	◎世界の国々の音楽																			○	○
52	きっと届ける	○	○	○	○	○														○	
54	さよなら友よ	○	○	○	○	○														○	
55	あおげばとうとし	○	○	○	○	○														○	
56	歌いつごう 日本の歌	○	○	○	○	○														○	
58	Wish ～夢を信じて	○	○	○	○	○														○	○
60	旅立ちの日に	○	○	○	○	○														○	○
62	あすという日が	○	○	○	○	○														○	○
64	歌よ ありがとう	○	○	○	○	○														○	○
65	そよ風のデュエット						○	○	○	○	○	○								○	○
66	いのちの歌	○	○	○	○	○														○	○
68	Edelweiss	○	○	○	○	○														○	
70	木星						○	○	○	○	○	○								○	○
72	コンドルは飛んで行く						○	○	○	○	○	○								○	○
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○														○	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 23	小学校	音楽	音楽	第 6 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 602	小学生の音楽 6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)に関連して、音楽にかかわる用語について、より知識を広げる。	0.25 ページ
85	ステップアップ へ長調の音階、二短調の音階	1	2 内容 A表現(1)ウ(ア)及び(2)ウ(ア)の「ハ長調及びイ短調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能」と関連して、音階の種類についてより知識を広げる。	0.25 ページ
			合計	0.5 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容